

議決権行使レポート

証券コード 6371

会社名 椿本チエイン

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役6名選任の件			
古世 憲二氏	○		
木村 隆利氏	○		
宮地 正樹氏	○		
安藤 圭一氏	○		
北山 久恵氏	○		
谷所 敬氏	○		
第3号議案 監査役1名専任の件			
田中 浩司氏	○		
第4号議案 補欠監査役1名専任の件			
林 晃史氏	○		

上記の推奨をした理由

- (1) 第一号議案に関して、椿本チエインは2023年度の配当性向予想では33.4%となっており、同社が掲げている連結配当性向30%を満たしていることを鑑みると十分な値だといえる。さらに、2023年度の年間配当金についても、1株当たり130円を予定しているとあり、株主への利益還元を最重要課題にする姿勢が感じられる。以上の理由をもって賛成とする。
- (2) 第二号議案に関して、おおむね賛成である。その役員も、前々から椿本チエインに勤めていたり、社外取締役として関係を築いていたりする人が多い。取締役という子会社や提携会社との関係性が非常に重要となるポストに就任するにあたって、長期的で密接な椿本チエインとの関係は非常に大切である。その観点からみると、6人ともその面での経験値が多いと感じた。さらに北山氏が女性であるなど、ジェンダー面からみて男性一強になっていない点でも評価できる。しかし、全体的に年層が高いのが少し気になる点ではある。
- (3) 第三号議案に関して、賛成である。田中氏は2019年から監査役を務めており、さらにそれ以前には法務部長を務めていた。直近の椿本チエインの財務状況を見ても大きな後退は見受けられないため、引き続き監査役を務めても問題はないと判断した。しかし、田中氏は27歳の時から椿本チエインに勤めているため、中立的視点

が少し欠けている懸念があるため、そこは注意が必要である。

- (4) 第四号議案に関して、賛成である。林氏は椿本チェーンに勤めたことはない。ゆえに高い中立性をもって監査を行う見込みがある。かつ、現在株式会社帝国電機製作所の監査委員を務めていることから、監査役員としてのキャリアもあるといえるため、補欠監査役として問題はないと判断した。